

2023年1月1日
第559号
(毎月1日発行)

咲いたネット
URL：
http://www.saitanet.or.jp
Eメール：
saita@saitanet.or.jp



発行所
埼玉県労働組合連合会
〒330-0063
埼玉県さいたま市浦和区高砂
3-10-11 第一木村ビル
TEL 048-838-0771
FAX 048-838-0775
編集発行人
埼玉県労働組合連合会
【定価】1部50円
(組合員の購読料は組合費に含む)

すべての労働者を視野に仲間を増やし、その力で賃上げ勝ち取る23春闘に
コロナ禍でも運動を前進させてきた1年のとりくみを教訓に飛躍する1年に！

2022年の埼労連の運動は、1月8日の旗びらきから始まり、22春闘、第93回埼玉中央メーデー、全自治体訪問行動など、積み重ねてきた運動を柱に、憲法改悪阻止、全国一律最賃制度実現の取り組みなどをすすめるため、ホームページのリニューアル、ツイッター、YouTube(ユーチューブ)配信などのSNS戦略の推進、様々な分野の共闘の広がりなど、新年に引き継ぐべき前進面がつくられました。

2023年は、こうした取り組みをさらに前進させ、労働者・国民の暮らしと権利の向上を実現していく1年にしていきたいでしょう。

(4面に関連記事と写真掲載)



全国統一行動(ストライキ)



新春旗びらき



県へ要請行動(ケア労働処遇改善)



現地参加で行った定期大会

紙面から

- 2022年の諸活動 (1面・4面)
- わくわく労働セミナー (5面)
- 新島議長あいさつ (2面)
- いのちまもる埼玉総行動 (6面)
- 春闘討論集会 (3面)
- 埼労共のページ (8面)

新年のあいさつ 新島善弘

新年あけまして、おめでとございます。日ごろから埼玉連の諸活動にご尽力賜り心からお礼申し上げます。

昨年2月24日のロシアによるウクライナ侵略、7月8日の安倍元首相殺害事件という歴史的にも大きな事件が発生し、戦争反対、国葬反対の声とともに、旧統一協会と政治家との癒着、政教分離の原則がより明らかになりました。安

保関連三文書の閣議決定、新型コロナウイルス感染拡大、物価高騰、円安、新自由主義政策の失敗で国民生活は疲弊し、いのちとく

が脅かされています。国民は大軍拡・増税・改憲よりも、いのちとくらしをまもる政策を求めています。

埼玉高校生平和ゼミナール

私は、かつて埼玉高校生平和ゼミナールと関わっていました。埼玉平和ゼミは、40年ほど前、埼玉から5人の高校生が広島の世界大会に参加し、その帰りの新幹線の中で「埼玉でも平和ゼミ作りたいね」と声を掛け合い、産声をあげ

たと聞いています。8月の世界大会、3月のビキニデーを軸に、定期的な平和学習やフィールドワークに取り組んできました。その際、労働組合のみなさんには多大なる募金をいただき、本場にありがとつございました。

1995年、沖縄で米兵による少女暴行事件が発生。沖縄の高校生たちが「全国の高校生へ、沖縄に来てください。沖縄を知ってください」とメッセージを発信。2000年に初めて「全国高校生平和集会」が沖縄で開催され、その

思いを引き継ぎ、2001年にも再び開催。埼玉からもその呼びかけに答えて8人の高校生が沖縄に足を運びました。

世界大会「広島」で

さて、埼玉連では一昨年からTwitterに取り組んでいます。何となくTwitterを開いていると沖縄のある居酒屋がヒット。tweetを読み進めると共感できることが多く、すぐにフォローしました。Twitterを通して、その居酒屋の女将さん

と知り合いとなり、様々な情報交換をしていました。

そして夏。コロナ禍のもと、広島で世界大会が開催されました。海外代表の発言、ペナントの波、中でも参加者の心をゆさぶったのは高校生の発言でした。沖縄の高校生が「沖縄の基地問題は国民すべてが自分の問題として考えてほしい」と発言、会場はあふれんばかりの拍手でうまりました。

翌日、その居酒屋の女将さんからメッセージが来ていました。「新島さんも世界大会、参加していたのですか？私も参加していました！」と。驚きました。「なんで、わざわざ沖縄から？」と思

い、返事をだすと「私の子どもが発言したんです!!」。びっくり!!世の中、狭いなあ」と感じ、まあ保護者子どもといっしょに世界大会に参加することはよくあることなので「そういうこともあるかな?」と思いました。

大切な「出会い」を
女将さんと沖縄の問題や平和問題についてやり取りをしていると、沖縄には高校生平和ゼミナールがないことを伺い、私がかつて

高校生平和ゼミと関わっていて、2001年の沖縄で開催された全国高校生平和集会に埼玉から高校生とともに参加したことを伝えました。すると、女将さんから一枚の集合写真が添付されてメッセージが届きました。「その集会に私、参加していました!!高校生でした!!」と。驚きました。まったく同じ写真を私も持っていて、感動してグッとこみあげてくるものがありました。当時のことが走馬灯のようによみがえり、その集合写真(左下)に写っている高校生たちも40歳。連絡をとると、道は違っても信念をもち、それぞれ

の道で頑張っていることにさらに感動。高校生平和ゼミの活動にあらためて確信を持ちました。それは、平和ゼミの活動だけでなく、若いころにどんな人たちと出会い、どんな活動と出逢ったか、ということが極めて大切であること、そして青年を支える大人の果たす役割の重要さも実感しました。

8月下旬、玉城デニーさんの応援に埼玉土建の仲間とともに参加しました。初日の夜、一人での居酒屋さんを訪ねました。「お会

いできてよかったです」という声に励まされ、二時間ほど「ゆんたく」。その沖縄高校生平和ゼミナールが今年3月「沖縄戦と基地問題について学び、交流しよう」高校生平和集会in沖縄」(3月27日〜29日)の開催を計画し、参加を呼びかけています。埼玉平和ゼミの仲間が募金に伺う時には、ぜひ、お力添えをお願いします。

平和運動は労働組合運動の大切な柱です。かなり個人的になりましたが、長く平和運動を続けてきて本当に良かったし、沖縄の居酒屋から、想像以上の出会いとなりました。今年は、どんな出会いがあるでしょうか。よろしくお願

いします。



23春闘討論集会

埼玉春闘共闘・埼玉労連

埼玉春闘共闘と埼玉労連は、12月3日(土)午後1時から4時30分まで、埼玉土建げんき館大会議室で23春闘討論集会を開催し、3春闘共闘組織10単産・19地域組織から79人が参加(現地50人、オンライン29人)しました。

運営については埼玉土建国保組合の協力でオンライン環境を整備したこともあり、当日は大きなトラブルもなく運営できました。



埼玉土建げんき館

最賃宣伝

埼玉労連と労働法制改悪反対埼玉連絡会主催の最賃・労働法制に関する定例宣伝行動が12月15日(木)午後5時30分から浦和駅東口で行われ、5団体・11人が参加しました。

全国一律最賃制実現を求める訴えに加え、「労働相談フリーダイヤルの入ったポケットティッシュなどを配布しながら、「コロナ禍のもとで労働環境が悪化し、さらに物価高騰が追い打ちをかけて、

国民の暮らし厳しくなっている」、「まともに暮らせる賃金めざして声をあげよう」、そのためにも「職場での悩みやトラブルは一人で悩まず、気軽に労働組合に相談を」と呼びかけました。

宣伝中に、声をかけてくる人も何人かいて、「頑張ってください」と声をかけてきた女性も。改めて、労働組合を知らない人たちに広く周知するとりくみが重要だと実感することができました。

年明けからは23春闘がスタートしますが、埼玉労連では、春闘期も駅頭などの宣伝を呼びかけてい



浦和駅東口

商工会と懇談 飯能日高地労連

飯能日高地労連は11月25日(金)、日高市商工会の金子事務局長とインボイス制度と最低賃金について懇談しました。昨年、最賃問題で埼玉労連からの提起を受けて商工会と懇談しており、様々な立場の方と懇談し、一致点を探ることが必要だと考えて取り組んでいます。12月には飯能市商工会と懇談をしました。

金子氏から、地域の中小企業団体のために日々奮闘されている状況報告を受け、中小企業の事業主やそこで働く労働者への影響が大きいインボイス制度や最低賃金について日高市商工会としてのよう

うに受け止めているのか意見交換しました。

インボイスについては、対策を立てることが必要だと考え、セミナーを4回、個別相談を3回開いてきたということでした。最低賃金については、「上がることはい

ます。コロナ禍・物価高騰などで労働者の不安が広がっているときだからこそ、労働組合の存在が求められる情勢にあります。

いことだが、企業にとっては大変なので、相談に乗る対応をしている」ということでした。

商工会も地労連も、それぞれの会員、組合員の要求を基本に活動しているという点では同じですが、これらの課題は、国から出された「枠」を乗り越えることなしに中小企業、個人事業主の皆さんを守ることはできません。今後、どのように一致点をつくれるかが課題です。

今回の討論集会では、これまでのスタイルを変えて、初の試みとして、JMITU、医労連、コープネットグループ労組、自治労連、埼玉土建、地域組織(北足立南部地区労、比企労連、春日部労連)の8組織の代表者に、その場で23春闘方針に関する生討論会をしてもらい、要求を職場の組合員みんなのものにするにはどうするか、1月から3月までの山場への結集をどうしていくかを中心に、それぞれの組織の現状や悩みなども出しながら、約3時間の討論を行いました。

8組織以外にも、会場参加・オンライン参加の組織から、関係する課題についての発言もしてもらい、講演や報告を聞いただけの集会にしない工夫で、登壇した8組織も、参加した他の組織も、方針の具体的な内容について討論に参加でき、23春闘での中心課題が確認できる集会になりました。

(4面にも関連写真掲載)

(飯能日高地労連発)

2022年の様々なとりくみ

2022年は、コロナ禍から少しずつ元の活動形態に戻してきた1年でした。

第93回メーデーは、代表参加としましたがYouTubeによるライブ配信で視聴できるようにとりくみ、第34回定期大会は、さいたま市民会館おおみやの大ホールを会場に、現地参加での開催としました。

11月に実施した自治体との懇談も61自治体と行い、地域組織の文化行事も行われるようになってきました。



第93回メーデー



なかも増やし交流集会・最賃闘争意思統一集会



全自治体訪問

共闘を広げる取り組みでは、オール埼玉総行動の大集会（6月）への参加。同日の集会終了後、浦和駅東口で「グローバルアクションin埼玉」の宣伝行動を実施しました。
春闘討論集会では、初めてとなる「生討論会」で、民間単産や公務単産、地域組織の悩みも含めた本音の討論がされ、23春闘への決意が高まりました。



トラックパレード（建交労）



オール埼玉大集会



グローバルアクションin埼玉（浦和駅東口）



春闘討論集会

わくわく労働セミナー

狭山地区労

狭山地区労は、11月11日から隔週金曜日に「わくわく労働セミナー」を3回、狭山市民会館で開催しました。最終回は12月9日(金)でした。

今年、ロシアのウクライナ侵攻や反撃能力(敵基地攻撃能力)の導入など岸田内閣の軍拡の動きを受けて、戦争実態を学ぶために「戦争はどのようにおこるか」をテーマに、狭山で近代史研究会を主宰する松田福男先生を講師にお



分散討論で交流

招きました。

講義で、第一次世界大戦から第二次世界大戦に至る世界の歴史の流れを背景に、日本の中国侵略の実態を「平頂山事件」を例に日本の加害責任を具体的に学びました。毎回講義の後、4班に分かれて、戦争について話し合いました。参加者は41人で、うち21人に皆勤賞が贈られ、好評のうちに終了しました。

参加者から「3回のセミナーに参加して大変良かった。平和憲法の下で、日本は77年間戦争をしていないが、今後もこのことを大切にしていきたいと思います」、

「軍拡で自衛隊を戦争できる軍隊にしようとしている。行きつく先は今回学んだような残酷な戦争だ。今企てられている軍拡を止めることが私たちの戦後責任だ」などの感想が寄せられました。

(狭山地区労事務局長 海老沢晴児)

11回目のSAITANE!

埼高教は12月3日(土)〜4日(日)に、すっかり恒例となった『SAITANE!』を開催しました。

SAITANE!は、ベテランから青年へのバトンリレーを合言葉に始まり、今年で11回目になります。企画は青年部役員を中心に記念講演の講師、分科会・講座の内容、当日の係分担を決めていきます。

1日目は記念講演と感想交流会です。今年の記念講演は「コメデ

ィで伝える日本と沖縄の今〜フンドシおじさんのたわごと」をテーマに、せやろがいおじさんによる90分間ノンストップの学びあり、笑いあいの素晴らしいライブを楽しみました。

2日目の分科会は「浦和周辺フールドワーク」、「障害者スポーツ体験」、「オススメの本・映画を語る」の3つ。講座は「給料と権利の学習会」、「共済の相談会」、「人事の相談会」の3つ。あわせて6つを実施しました。2

Tシャツで訴え

北足立南部地区労は11月22日(火)午後5時30分から志木駅南口で最低賃金全国一律1500円を訴えて宣伝署名行動を4組織・8人の参加で行いました。

松本議長がマイクで10月から埼玉の最低賃金が987円になったことを報告しました。また、近隣の東京・神奈川から比べると約90円近く低くなっており、格差が生

まれていること、北足立南部地区労のエリアである朝霞四市は東京に隣接していること、地域の住民は「働くのなら隣の板橋や練馬に行く」状況で、「最低賃金は全国一律に、1500円にすべきだ」と訴えました。

参加者は、埼労連制作の最賃Tシャツを着て、全員が声かけしながらチラシ付きティッシュ300セットを配布、全国一律最賃署名は3筆集まりました。



せやろがいおじさんのライブ

日間でのべ130人が参加し、未組合員の参加も5人ありました。引き続き対話を継続し、組合員拡大に結びつけていきます。

(埼高教書記次長・中村一幾)



志木駅(南口)

(北足立南部地区労発)

いのちまもる埼玉総行動

埼玉医労連

埼玉医労連は11月27日(日)に、さいたま市浦和・ほまれ会館で「いのちまもる埼玉総行動」集会を25人の参加で開催し、学習と浦和駅東口での宣伝行動を行いました。

記念講演で佛敎大学・長友先生は、1980年代から続く政府の医療費抑制政策を解説。現在の岸田政権でも引き続き医療費抑制政策が展開されており、私たちの労働条件や患者さんの受けるサービスに影響を与えていること、そう



ほまれ会館で集会



浦和駅東口で宣伝

した政策の発信源が財務省や経済財政諮問会議であること、政策転換が必要で、私たちの運動によって変えることができると語られました。

宣伝行動では、「大幅増員署名」「全国一律最賃署名」を返信用封筒に入れて、ウェットティッシュと一緒に、40分で約140セットを配布しました。医労連は、10月に始まったケア労働者の賃上げ問題についても、さらに前に進めるために、12月県議会に請願書を提出しています。

(埼玉医労連発)

北本駅で宣伝

鴻北労連は12月14日夕方、北本駅で恒例になった「お帰りなさい」「お疲れさま」の「最賃宣伝」を、5団体18人が参加して横断幕を掲げて行いました。

宣伝では、埼玉県の最低賃金が987円となったことの周知とまだまだ足りない賃上げを呼びかけました。「8時間働いて普通に生活するためには、時給にして15

00円はないと苦しい」とを訴え、埼玉連の労働相談ティッシュや労働組合の加入呼びかけチラシを配りました。

あわせて、岸田政権の軍拡暴走では平和は守れないと訴え、憲法署名のお願いをしました。

今回は受け取りがよく、用意した300組の宣伝物がいつもより早くなくなってしまう、約25分で宣伝行動を終了しました。

(鴻北労連発)



北本駅西口で宣伝

全国一般が組織拡大委員会

全労連・全国一般埼玉地本は11月14日(月)夜、9月の定期大会以降、最初の組織拡大委員会を開催、地本執行委員8人が参加しました。

今回は、9月23日に開催された『埼玉連なかま増やし交流会』での実務局長提案を議論しました。組織拡大委員会では、①組合員の減少は、高齢化や定年退職、組合の役員づくりの遅れ、②「労働組合に入っていないしよに要求を

実現しよう」という点が肝で独自に追求すること、③なぜ仲間を増やすのか、役員と組合員が議論し、誰でも仲間を増やせるようにすること、④拡大目標を持つこと。目標を達成したらどんな未来が開けるのか、目標をやりきった

めはどうするか議論して対策を立てること、⑤仲間増やしは役員づくりと組合員成長の場。「目標は高く、ハードルは低く、提起は具体的に」を実践する、という5点を報告、議論をしました。

「要求を実現しても組合員は自然に増えない。『組合の役員づくりの遅れ』の指摘は、うちの組合

とそっくりだ」「もっと早く組合をつくっておけばよかった」「執行委員だけでなく、一般組合員の力を借りよう」「ツイッターなどを活用したらいいと思います」など多岐にわたる意見が出されました。

拡大目標については、3支部で25人、その他の支部が1人を目標に取り組みます。とにかく気軽に未加入の仲間アンケートや署名なども訴え、加入を訴えようと確認。久しぶりに熱の入った会議になり、地本拡大推進ニュースとして発行しました。

(全労連・全国一般埼玉地本発)

2022 秋の時給調査

今年も秋の『募集時給調査』が
ましまりました。

全産業の平均時給額は1169
・7円(2022年4月1126
・3円)となり、4月より約44円
引きあがっています。

また業種ごとの時給の推移で
は、2019年の秋とコロナ禍以
降の募集で大きく変化し、コロナ
禍の影響で、生活関連サービス業
(娯楽産業等)や飲食・宿泊業
(外食産業)などのサービス産業
を抜いて、運輸業(宅配・物流)

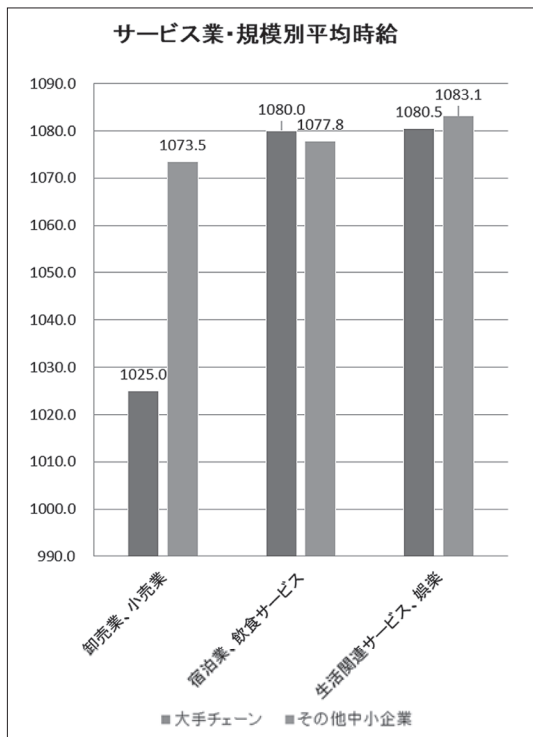
が昨年に続いて1位になりました。
た。

いわゆる「エッセンシャルワ
ーク」と呼ばれる産業では、依然と
して人手不足の状況が続いていま
すが、コロナの影響が大きかった

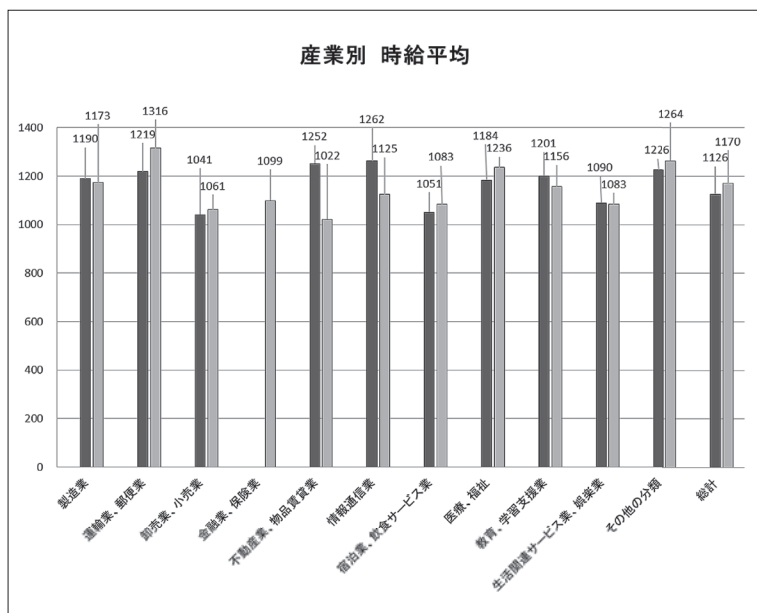
外食産業と娯楽産業(産業別平均
額が低い業種)の募集もコロナ前
の水準(件数)に戻ってきたため、
結果として募集件数が昨年
よりも大幅に増加しています。

また、全体としては、全産業で
1000円を超える平均額になっ
ていることは、東京(最賃107
2円)と同水準の募集額にしなけ
れば人を雇えないという首都圏特
有の地域性が伺えます。

大手と中小企業の比較



産業別の時給



左が2022年春

右が2022年秋

※金融業、保険業は2022年春の募集が0件

職場環境を変えたいと組合結成

JMITU埼玉地本 日本製罐分会

JMITU埼玉地方本部では11月に日本製罐分会が結成されました。日本製罐はステンレス製ドラム缶を製造する会社で、さいたま市北区吉野町に本社があります。

職場では、給料減額から始まり「賃金格差、査定反対」、「残業が多く有給取得を自由に取れない」など声が寄せられ、「労働組合を立ち上げたい」という労働相談が数年前からあり、何度も打ち合わせを重ねていきました。その結果、職場環境を変えるため1名でありますJMITUの組織を立ち上げました。

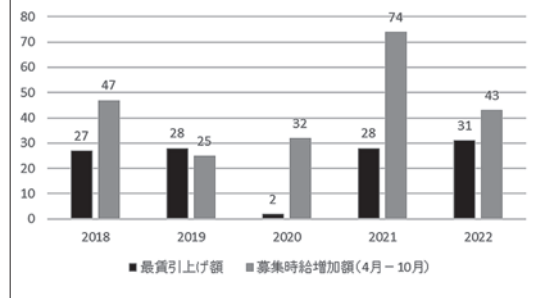
まだ1名の分会です。埼玉地本として支援を欠かさず、今後は要求実現に向けて団体交渉を重ね、職場に見える組合活動を重ね、組織拡大につとめていきます。今後とも支援、ご鞭撻のほどよろしくお願ひします。

(JMITU埼玉地本発)

23春闘でも、コロナ禍だからこそ、ケア労働(保育・医療・福祉)を中心に、パートやアルバイトをはじめとする非正規労働者の賃金について、少なくとも1000円以上、資格の必要な職種はさらに高い水準の時給を求めていくことの正当性が今回の調査で示されました。

当事者である非正規で働く労働者とともに声を上げていきましょう。

最賃引上げ額と民間時給増加額の推移



1月の上映案内

1月の上映は「ぼけますから、よろしくお願ひします。〜おかえりお母さん〜」です。

アルツハイマー型認知症を患った母を98歳になった父が懸命に介護する。老老介護、認知症、看取り…。日本全体が抱える高齢化社会のリアルな問題をありのままに、時にユーモラスに綴っている。

2018年上映の「ぼけますから、よろしくお願ひします。」のその後を描いた感動の物語です。

日時 1月30日(月)

- ① 10時30分〜12時20分
- ② 14時〜15時50分
- ③ 18時30分〜20時20分

場所 埼玉会館 小ホール
埼玉共専用入場整理券利用で、900円でご覧いただけます。



アイエス コンサート

アイエスによるコンサートの割引販売です。単産・地域組織に送付してあります「案内チラシ」を利用し、希望される方は直接お申し込みください。

ラインナップ

- ・梅沢富美男&研ナオコ
- 1月26日(木)
- ウエス又川越
- 14時〜、18時〜
- 3月8日(水)
- サンシティ越谷



- 14時〜、18時〜
- ・五木ひろし
- 2月9日(木)

- さいたま市民会館おおみや
- 14時〜
- ・舟木一夫
- 2月16日(木)
- 大宮ソニックシティ
- 14時〜

*いずれも3900円で申し込みできます!

万一の備えに 1億円の補償

全労連共済の組織共済に加入している組合に所属している組合員が利用できる、とても魅力的な保険です。

日常生活における損害賠償が伴う事故に対して最大で1億円までを保障し、加入する組合員本人だけでなく、同居家族まで対象となる保険です。自転車保険にも対応します。

1年間の保険料金は25300円で、特に幼児や児童がいる方は、万一の備えとしておススメです。(あくまで損害を与えてしまった

場合、相手の所有物を保障するものです。)

2023年1月発効で補償期間は1年間です。共済会ごとにまとめて申込みになりますので、ご希望の組合員は、所属組合の役員や共済担当者にお問い合わせください。

フードバンク

第80便

11月から12月にかけてのフードバンク活動では、12月8日(木)

に第80便を窓口の埼玉労協に届けました。今回は、熊谷地域労連からモチ米玄米30キロ、SUから清涼飲料水、お菓子類、麺類、海苔などが提供され、全体で38・3

キログラムとなりました。フードバンク埼玉事務局から「正月に向けて子ども食堂などはモチをつくるため、モチ米を提供してもらって大変ありがたい」と感謝されました。

埼玉連は、月1回ないし2カ月に3回程度のフードドライブ(保存食品をフードバンク埼玉に搬入



フードバンク第80便

全労連共済埼玉県支部としての受付は2月10日までです。

